

2025 年 9 月 1 日

2025 年 12 月期 中間期（第 2 四半期）

決算説明会等における主な質疑応答

【質問】説明会資料 P12「2027 年 ZEH 基準の引き上げ（断熱等級）」について。

・基準引き上げによる影響と、日本アクア（アクアフォーム）は他の断熱材と比較して有利になるのか。

当社にとっては大きくプラスに作用すると見ている。今回の引き上げにより、断熱等級 6 が事実上の標準となる見通しである。現時点でも、他の断熱材を主力として展開している住宅メーカーにおいて、等級 6 仕様の場合には当社のアクアフォームを採用する事例が増えている。したがって、等級 6 が標準化された場合、こうした採用ケースは加速的に拡大すると考えている。

【質問】説明会資料 P13「重点施策の展望」について。

・2026 年 12 月期以降はシェア拡大戦略が一段落する見通しだが、施工棟数（数量）はあまり増えないと考えているのか。

そのようには考えておらず、引き続き施工棟数の増加を見込んでいる。市場環境は必ずしも良好とは言えないものの、上半期の実績を振り返ると計画を上回る施工棟数を達成している。また、足もとでは各地域トップビルダーが当社へ切り替える事例も増加している。加えて、強固な施工体制を背景に当社が選ばれている事実もあり、この強みを活かしながら積極的に施工棟数の拡大に取り組んでいく。

【質問】説明会資料 P14「戸建部門」について。

・新規先を中心とした売上が好調のようだが、新規先と既存先と分けるとどうなっているのか。

新規先は大口先を含めて好調なところが多い。一方、既存先が一律に厳しいということではなく、既存先でもお客様の支持を獲得している先は伸びている。逆に支持を獲得できていない先は厳しいようだ。

・新規の大口先開拓が進んでいるようだが、価格戦略以外でどのような点が評価されていると考えているか。

外部環境として高断熱・高気密への関心が高まるなか、そのニーズに最適な断熱材としてアクアフォームが評価されていると認識している。加えて、当社の全国に展開する強固な施工体制や、ウレタン端材を適切に処理できる広域認定の仕組みも高く評価されている。さらに、原料開発から製造・施工・リサイクルまでを一気通貫で担う当社独自のビジネスモデルが、持続可能性や信頼性の観点から選ばれているようだ。

【質問】説明会資料 P15「まるっとアクアフォーム」について。

・断熱等級 6 の工事は全施工数の 10%を計画していると記載があるが、第 2 四半期末時点での進捗はどの程度か。

計画線上で推移しており上半期（第 2 四半期まで）の時点では 10%程度。下半期は若干増えると思っている。

・気密測定サービスの件数は全施工数の 20%を計画していると記載があるが、第 2 四半期末時点での進捗はどの程度か。

計画をやや上回る水準で推移している。下半期から新たに取り入れる先も増加する見込みであり、最

終的には20%を上回ると見ている。

- ・新たに床の断熱材を取り扱うとのことだが、吹付工事になるのか。売上計上はどのようなのか。

床への吹付工事は既に存在しているものの、需要は限定的であり、現状ではポリスチレンフォーム等を板状に加工した断熱ボードをプレカットし、大工がはめ込む工法が主流となっている。このため、当社における取り扱いはこれまで少なかったが、今後は当社が有するビルダー・工務店向け営業網を活用し、断熱ボードの取り扱いも拡充していく。当該売上は副資材の販売に含めて計上する。

【質問】説明会資料 P17「建築物部門」について。

- ・「一部の大型プロジェクトに設計変更や着工判断の遅れが発生」と記載がある。遅れは時期がずれても売上計上できると認識しているが、設計変更とはどういうものか。

遅れについてはご認識の通り、売上は計上可能と考えている。設計変更とは、建物の仕様や構成が見直され、それに応じて当社の施工範囲や工事量が調整されることを指す。

- ・同部門の通期計画達成は可能なのか。第3四半期、第4四半期の計画は過大ではないのか。

第3四半期、第4四半期の計画については過大とは認識しておらず、発注先も年度末を迎えることから、予定通り進捗すると見込んでいる。通期計画についても、各案件の進捗を注視しながら着実な達成を目指していく。

- ・これまで着工遅延となった案件のその後の状況はどうなっているのか。

第3四半期、第4四半期は業界として繁忙期に入っており、着工遅延の解消も進展している。

- ・建築工事管理部を新設したことによる利点を示して欲しい。

大規模工事の精算がより速やかに進むようになった点は大きな効果と考えている。部門新設により資金回収の効率化や利益率の安定化が進んでいる。

以上

【お問い合わせ先】

株式会社日本アクア 管理本部 経営企画部 小室 昌彦

電話番号：03-5463-1117

Eメール：m.komuro@n-aqua.com